

研究機関名：下関市立市民病院

研究課題名：

血液透析患者における日常生活困難感と主要心脳血管イベントに及ぼす影響

研究期間：2025 年 10 月 1 日～2026 年 3 月 15 日

対象材料：

- ☐ 病理材料（対象臓器名： ）
☐ 生検材料（対象臓器名 ）
☐ 血液材料
☐ 遊離細胞
☒ その他（診療録 ）

上記材料の採取期間：2024 年 11 月 ～ 2025 年 10 月

意義：

血液透析患者において日常生活困難感には、年齢や栄養状態、併存疾患保有数、身体活動時間、抑うつ症状、下肢筋力、歩行速度、バランス機能などの身体機能が関連することが報告されている。また、血液透析患者における日常生活困難感は、将来的な転倒や生命予後の独立した予測因子であることが報告されている。

血液透析患者は心血管疾患を発症するリスクが一般成人より高くなることが報告されており、心血管疾患の有病率は 77.3%に達するとされている。したがって、心血管リスクの早期発見や関連因子の同定は重要な課題である。しかし、血液透析患者における日常生活困難感と心血管イベントとの関連は明らかにされていない。

目的：

血液透析患者における日常生活困難が主要心脳血管イベント(MACCE)に及ぼす影響を明らかにすること。

方法：

2024 年 11～12 月に実施した研究（維持血液透析患者の日常生活困難感に関連する因子の検討）で収集した、既存の身体機能・質問紙評価の結果を使用する。また、電子カルテより患者基本情報、医学的情報 1 年以内の MACCE（心血管死、心不全、心筋梗塞、狭心症、その他の心疾患、再灌流治療を要する抹消動脈疾患、脳卒中での入院）発生の有無と発生までの期間を広報誌的に診療録より収集する。

個人情報の取り扱い：

患者さまの個人情報は、個人を特定できる情報とは切り離した上で使用する。また、研究成果を理学療法関連学会で発表するが、患者さま個人を特定できる個人情報は含まない。

問い合わせ・苦情等の窓口：

$\overline{750-8520}$

山口県下関市向洋町一丁目13番1号

下関市立市民病院 リハビリテーション部 月城 一志

TEL 083-231-4111 FAX 083-224-3838